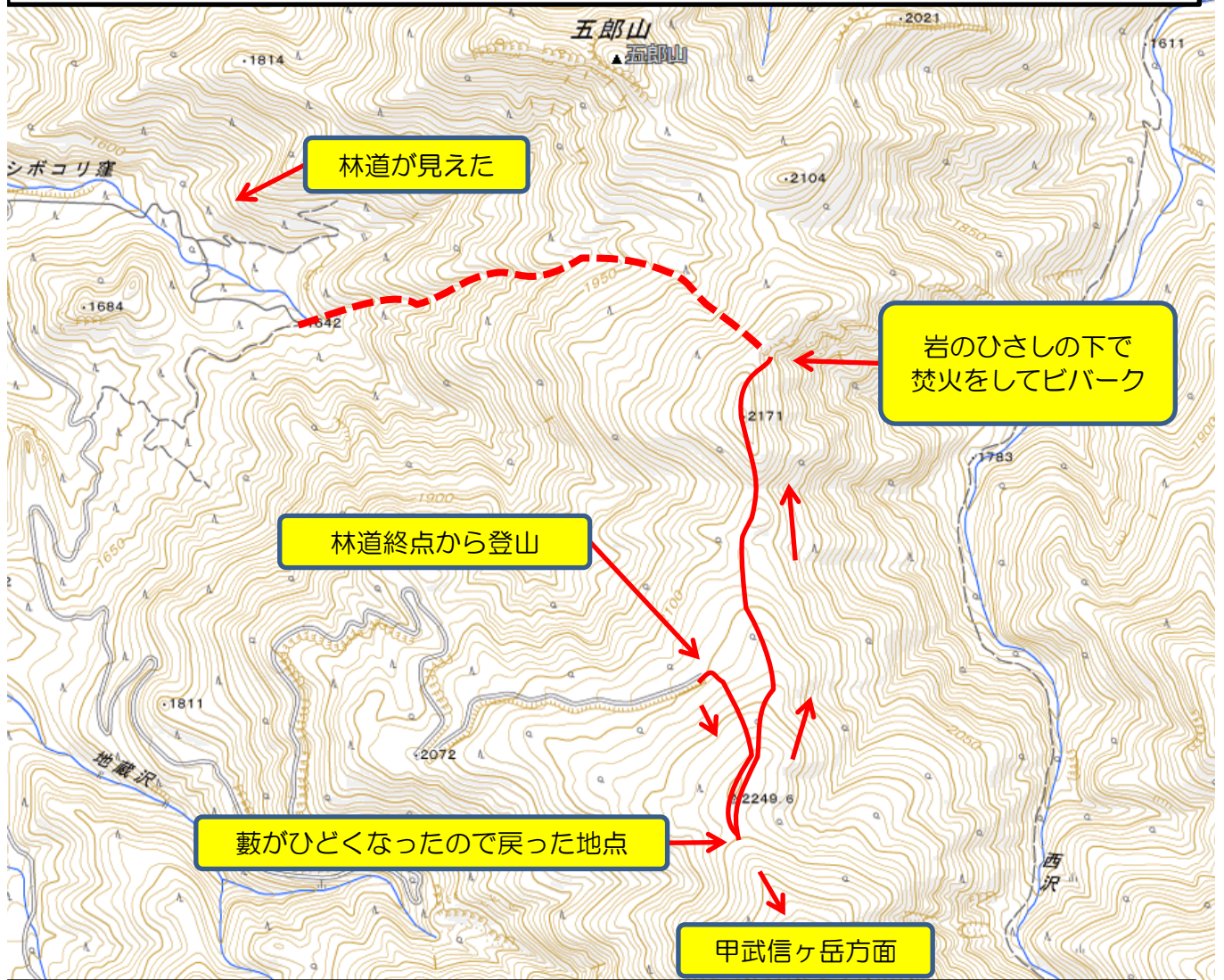


甲武信ヶ岳遭難(不明)

大人4人。子供2人(4、5歳)のパーティー。甲武信ヶ岳に容易に登れる登山道が開かれたという噂を信じ登山。道はなく藪のため引き返したが、帰り道で遭難した。



解説

噂を信じて登山開始。登山道らしくなかったが、登山道があるはずと思っていたので、そのまま登り続けた。しかし、1Kmも行かないうちにあまりにも藪がひどくなってきたので、登りで付けたナタ目を頼りに戻ることになった。その後、別のナタ目に誘導されて、尾根を北の方に下ってしまい道迷いに。尾根上の岩場に出た時、その日は下れないと分かり、雨が降ってきたので、岩のひさしの下で焚火をしながらビバークをした。

翌日、天気が良くなり、五郎山が正面に現われたので、遠くに見えた林道を目指し、比較的緩そうな沢筋を選んで下り、事なきを得た。

噂の登山道を確認することは、誰もやりたいことだが、小さな子供と一緒にというのは疑問が残る。ナタ目をつけて慎重に進んでいるが、ナタ目よりも、赤テープの方が効果的だと思われる。今では、スマホの地図アプリで難なく脱出できるのかもしれないが、噂を100%信じてはいけないという教訓になった。